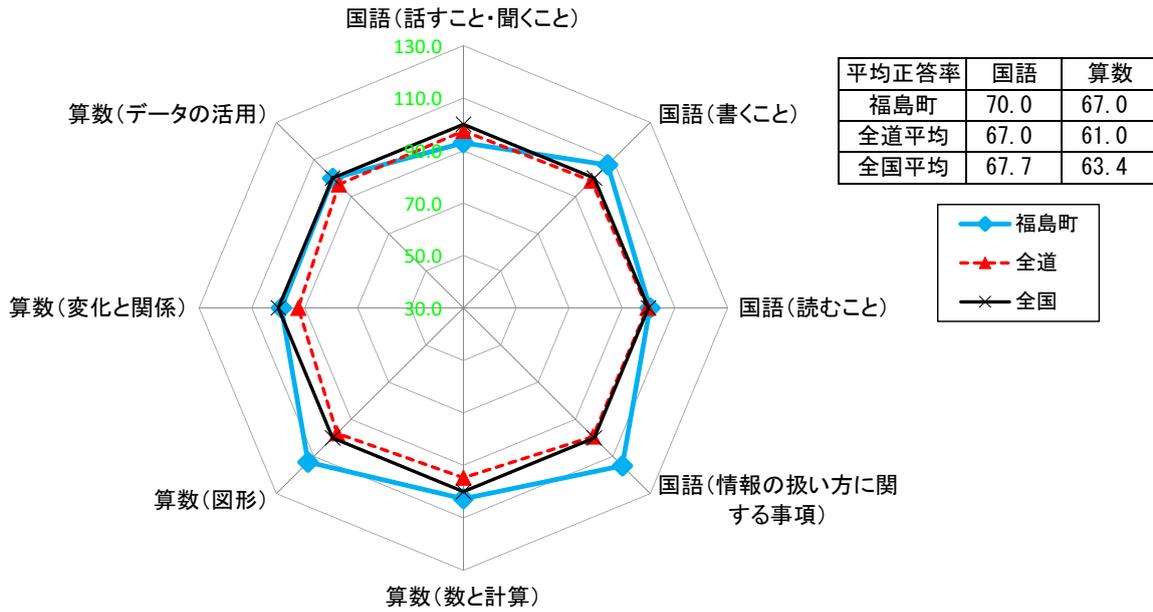


■福島町小学校の状況（小学校数:1校、児童数:15人）

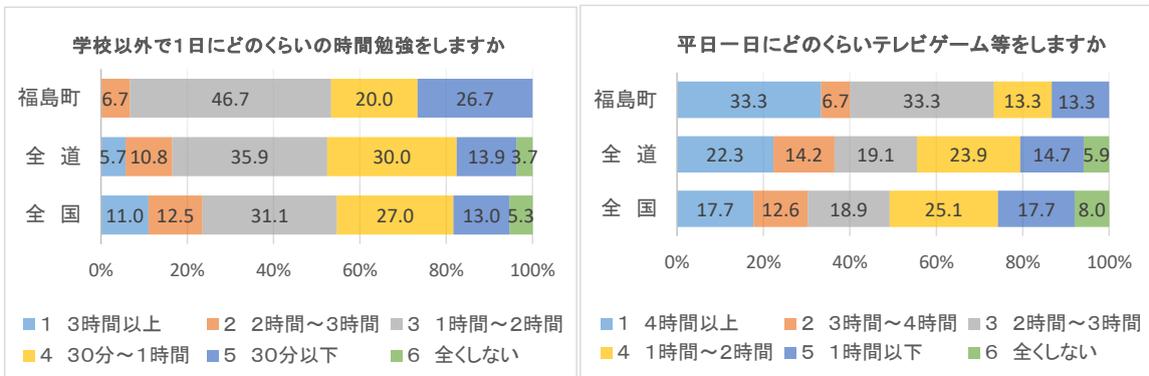
【教科全体の状況】



教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び福島町の状況をレーダーチャートで示したもの

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書等より得た情報からわかることを友達と交流し自分の考えと比べるなどの学習活動の充実を図ったことにより、国語の「情報の扱い方に関する事項」の領域で、平均正答率が全国及び全道平均を上回ったと考えられます。 ・「話すこと、聞くこと」の領域において、グループ学習やディベートを積極的に取り入れ、話し手、聞き手共に要点を意識し相手からのフィードバックを受け入れながら学習を進めます。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な計算の振り返りをこまめに各単元で行ったことや、その図形の特徴を繰り返し問う取り組みを行ったことにより、「数と計算」・「図形」の領域で全国の平均正答率を上回ったと考えられます。 ・グラフから必要とされる数値を読み取ったり、問題場面の数値の関係性をとらえたりするなどの取組を視点や見方、考え方を明確にしなが進める学習に取り組めます。
今後の取り組み方策	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 児童の個別最適な学びを推進するためにICT機器を有効活用します。 ◎ 児童が自己肯定感を持ちながら主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます。 ◎ 児童の確かな学力の定着を図るために、教員の授業力向上に取り組めます。

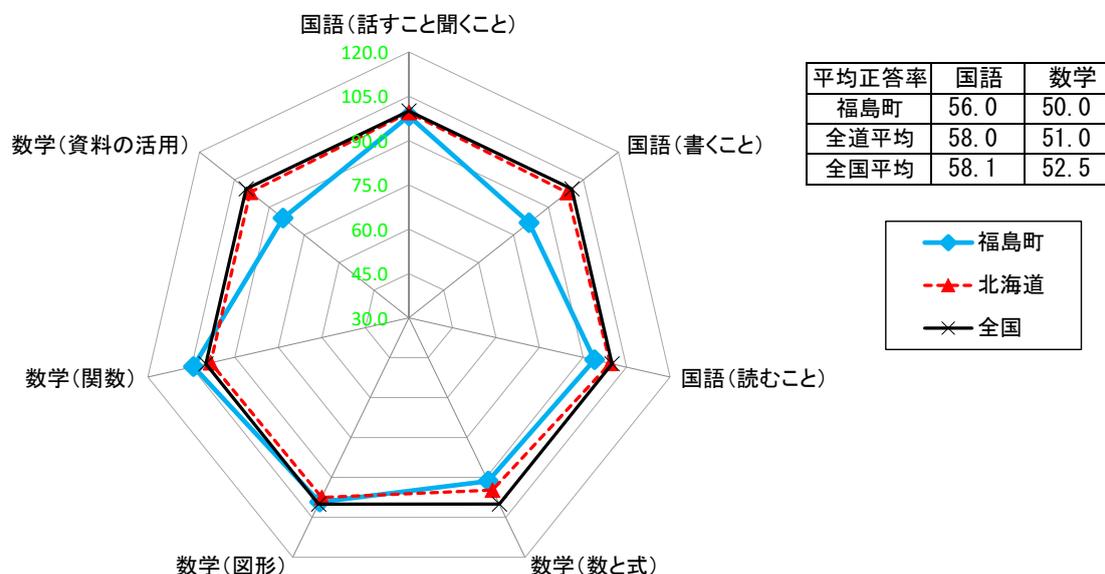
【児童質問紙の状況】



・学校以外での1日の勉強時間について、1時間以上という回答が50%で、昨年度より20%向上し全道、全国の平均値と同等になった。
 ・1日のゲーム時間について、2時間以上と答えた児童は73%で、4時間以上は33%という回答となった。
 ・上記の2点を合わせ、睡眠不足などの健康面での弊害も考えつつ、ゲーム時間を減らし、ICT機器を活用しながら家庭学習の充実を図る。

■福島町中学校の状況（中学校数:1校、生徒数:15人）

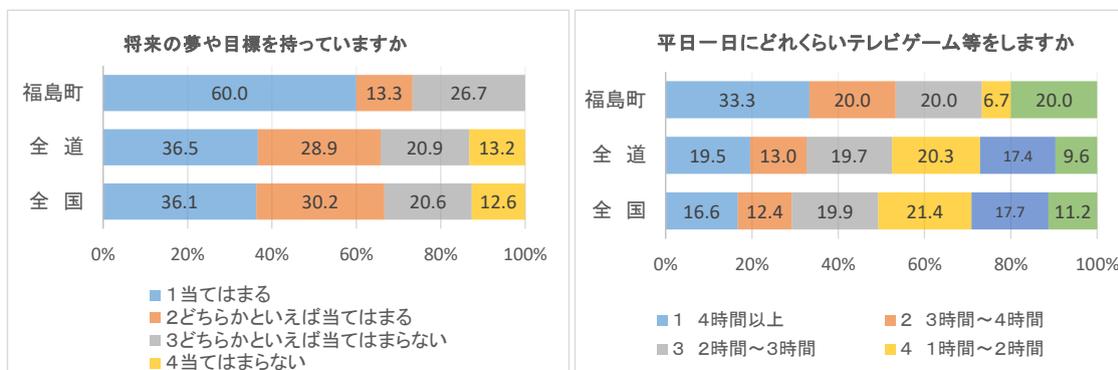
【教科全体の状況】



教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを

国語	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の特徴や使い方に関する事項の特に文脈に合わせて正しく漢字を用いることができるという項目で全道、全国平均を超えている。 自分の考えを他に理解してもらえるよう目的や意図に応じて、集めた材料の中から大切な情報を取捨選択し、提示する順番も考慮しながら書くことを意識した学習に取り組めます。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度まで課題とされていた関数について、グラフの傾きや交点の意味を理解し、合わせて一次関数において式とグラフの関連が理解され定着している生徒が多い。 複数のデータの分布傾向や図形等の条件が成立する理由を明確にするために、数学的な表現を用いて説明するなどの学習に取り組めます。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ICT機器を有効活用し、生徒の個別最適な学びを実現します。 ◎ 各教科で意識して生徒の考えを発表する機会を設けるなどの授業に取り組めます。 ◎ 生徒の自己肯定感を高めながら資質・能力の向上に向けて授業改善に取り組めます。

【生徒質問紙の状況】



- ・キャリア学習の充実により将来の夢や目標を持っている生徒が多いという回答になりました。
- ・1日のゲーム時間について、2時間以上と答えた児童は73%で、4時間以上は33%という回答になりました。
- ・上記の2点を合わせ、睡眠不足などの健康面での弊害も考えつつ、ゲーム時間を減らし、将来の夢の実現のためICT機器を活用しながら学習面の充実に取り組めます。